

世田谷町総連だより

第5号

発行 世田谷区町会総連合会
 世田谷区深沢2-3-3
 発行人 会長 三田 隆 眞
 編集 情報誌編集委員会
 編集委員長 波 辺 三 郎

他区の町会活動に学ぶ

——文京区町会総連合会との懇談——

人口十七万余（世田谷区の四分の一弱）、面積六十万ヘクタール余（同六分の一弱）に過ぎないが、区内に四つの国立大学を有し、商業地面積約一・二万ヘクタール、国税収納済額三、一〇二億と何れも世田谷区と肩を並べ、財政調整交付金も約一二三億（世田谷区は二三七億）とほぼ同等の規模で、一昨年、区内コミュニティ、文化、情報、防災の中心的機能を持つ区役所（シビックセンター）を完

成させた文京区とはどんなところか。町会総連合会では行政における町会の位置づけを探るべく、昨年は江東区の町会総連合会と、特に防災問題を主に懇談会を持ったが（町会総連だより第三号参照）、今年は東京都町会総連合会（都町連）加入問題も考慮に入れて、現在都町連会長を勤めておられる文京区町会総連合会を訪問することとした。（平成八年）

から岩崎事務局員が行い、双方の基礎的な認識の共有化を図った。文京区側の説明で世田谷区側で目新しく感じられたものはつぎのとおりである。

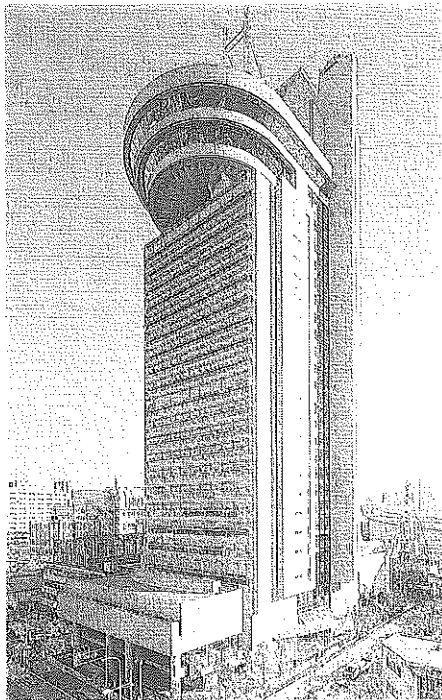
一、年一回区四役および部長級と常任理事の間で区政について懇談等を行い、町会に反映させる。

二、区議会正副議長・各派幹事長と常任理事との意見交換会を開き、区政について常任理事よりの質疑に、各派の施策を陳述する。

三、常任理事の研鑽と親睦を図ることを目的として、宿泊による研修会を年一回開催することは世田谷区と同じであるが、この際講師を招いている。ついで個々のテーマについて意見交換を行った。

防災について

世・白石副会長―一九二町会にそれぞれ防災組織があり、防災資材は区で用意するもの、区が助成するもの、



文京区役所（シビックセンター）

十一月七日、三田町会総連会長、白石、倉本、安田副会長をはじめ常任理事以上の役員はバスで後樂園スタジアムに隣接する二六階の文京シビックセンターを訪問した。

文京区側からは相川連合会会長、牧口、石原、水上副会長をはじめ、全区一五七町会からなる九地区を統括する常任理事、監事など総員十九名、その他文京区側関係者が出席され、東京湾から東京都庁舎まで一望

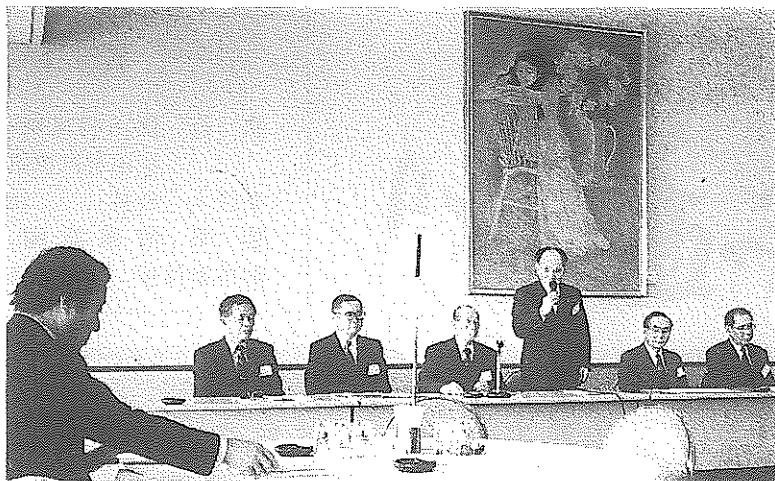
できる二六階のホールで懇談会が開かれた。

白石副会長の司会のもと、まず両区町会総連合会長の

挨拶があり、つづいて両連合会の年間の事業計画についての説明を世田谷区側から渡辺常任理事、文京区側

および町会側で準備するものがある。

文・石川副会長―一五七の単位町会は本郷消防署管内四、小石川消防署管内五の防災組織を作っており、毎年六義園と小石川教育の森で交互に区や消防署と合同



文京区相川町会総連合会長の挨拶

の総合防災訓練を行っている。文・橋山常任理事―パール、ハンマー、投光器、発電機を各単位防災組織に配布し、

使い方は各地区ごとに訓練。

世・井出防災課長―資機材倉庫はどうしているか。文・利根川常任理事―二坪位のもの町会内の公園、会長宅などに設置している。緊急食料の補充も含む。初期消火、街頭消火器の管理は消防署警察(富坂、大塚、本富士、駒込の四署)単位でブロックを作り訓練。公共施設の耐震性をチェックした。震度六までは十分という結果を得た。町会単位の行事のため、一部の町会では広報紙を毎月発行している。補助金二万円を支給。

区からは活性化事業資金として九連合町会に二十万円を支給。世・渡辺常任理事―高齢者を含めた災害弱者をどのよ

うに把握しているか。

文・牧口副会長―各町会ごとに高齢者団体を組織し、警察署単位でグループを構成している。文・中村区民部長―老人クラブ等の団体を把握するとともに、民生委員と町会長が地域の災害弱者を把握。民生委員は町会長推薦によるものなので良好な連携ができています。

リサイクルについて

文・安田監事―一五七町会の大部分がリサイクルを実施している。毎週金曜日小型自動車で廻り、びん、缶、古紙を集め、車が一杯になる状況である。世・白石副会長―区内五地域に清掃協力会がある。事業系ゴミ有料化に協力している。

世・宇田川常任理事―町会総連合会として世田谷清掃工場の修理を要望し、九万名の署名を集めた。世・倉本副会長―リサイク

ルモデル地域を設定し、推進事業として区が助成。対象は文京と同じで毎週回収。文・牧口副会長―区内に清掃工場はない。本郷、小石川の都清掃事務所に協力しゴミの減量に努めている。

町会加入促進の広報について

世・安田副会長―町会の事業内容を詳述したピラを作成。特に新設のマンションなどに対しては管理人や管理会社などに配布し、理解してもらおう。積極的な話合いが必要。会費は一口百円であるが話合いにより複数口入って貰っており、一〇〇世帯で一七〇万の収入になっている。

文・高松常任理事―町会組織に婦人部、青年部を作り、子供中心の行事を多く実施し、PTAのお母さん方には実行委員会の段階から加わって貰う。月二回発行される文京区報を町会組織で加入者、非加入者を問わず全戸配布する。また、婦人部役員を中心に地域広報紙を編集配布する。年頭には年間行事一覧を掲載し、町会費募集を



懇親会における世田谷区大塚助役の挨拶

する。町会加入依頼はマン
ション建築中から行い、管
理会社にまとめて集めても
らうこともある。

以上で懇談会を終わり、

引き続き文京区中村助役、
世田谷区大塚助役、浜田生
活文化部長も加わり懇親会
に移り、午後は同じ建物内
の文京区議会議場、十五階

にある防災センター、四階
のシルバーセンターを見学
し、有意義な研修会を終了
した。(文責 渡辺三郎)

是非知りたいたいこと

第五号の編集について

世田谷区町会総連合会長 三田 隆 眞

町会長の皆さん、いつも
町会のためにご努力いただ
き謹んで敬意を表します。
「世田谷区町会総連合会
の情報誌」は町会長の皆さん
の活動について、互いに

それぞれの特徴と思われる
点を簡潔に書いて頂き、多
くの会長さんや役員さんに
読んで貰って、更に一層の
成果を上げるようにと願っ
ています。また同時に、活

動している皆さんが忙しい
中で、どのようにして公共
のためになる仕事をしてお
られるか？そして新しく
町会長になられた方や、二、
三年の町会長経験の方々は、

この点をどのように処理し
ておられるのか？五年以
上、六、七年の経験者はど
うか？そうした方々の考
え、実情を是非お聞きした
いということ、この号の
編集に当って貰いました。
町会の仕事は実に幅広い
ので、ほとんど連日のよう
に歩かなければなりません。
また、協力して下さる
町内の皆さんも忙しい方が
多い中を一所懸命に努力し
て下さる。しかし一方、町
会のことは全く無関係のよ
うに、殆ど見て見ぬふりを
している方も多いのです。
どうかこのようなことに
ついての情報が集まれば、

と願っています。
なお、八年以上町会長の
職にあつて、かつ右に述べ
たような苦心をなさった方
には、改めて次の機会にご
意見を伺うように致したい
と思つています。もちろん
編集長の意見や、編集委員
の皆さんのご意見もま
まった上での実施となりま
しょうが、皆さんが実際に
考えていること、見ている
こと、実際にあること、こ
れが情報として整理されて
発表されることが、すべて
の会員にとって何より大切
と思ひます。よろしく。

次代を担う子供たちへの願い

三宿自治会会長 佐々木 国 男

時代の流れ、移り変わり
とともに環境が変化してゆ
くのは止むを得ませんが、
少しでも良い環境のもと、

安全で住みよいコミュニ
ケーションがあつて、みん
なが住み続けたい町をめざ
して努力しております。テ

レビでは毎日毎晩事故、事
件の放映は当たり前のよう
な今日、これから二十一世
紀に向けて青少年対策は一

つの重大な問題と思ひます。
新入学児童は年々減少の
傾向にあるに拘らず、その
少ない児童の中から、たと
え一部でも新聞テレビに載
るような非行者には育つて
ほしくない。しかし、登校
拒否、麻薬、いじめ、自殺
等年々増加しているような
現況です。
この次の世代を担う子供

達と、少しでもふれあひの
時を持ちたいと思つていま
す。幸いわが町には草花造
りの先生や、ボードウォッ
キングの指導に一生懸命取
り組んでいる方が多数おら
れ、この方々は、子供達や
学校とか折々に集まること
を楽しみにしております。
また、区の「水とみどりの
課」と緑化協定を結んでお



り、苗作りをしたり、近く
ビニールハウスも出来るこ
とになっていきます。

現在町内には八ヶ所の花
壇があり、四季それぞれの
花を咲かせて楽しんで貰っ
ています。小学生も参加し
て種植え等やっています、
今回は一年生と一緒に十一
月十九日に春咲きチュー
リップの球根を植えます。
子供達は輝いた目で、白魚
のような手で真剣に植え、
種々質問してきます。この
小さな種が肥料をやり、水
をやり、そして太陽の光を
浴びて立派な花になるので
す。この子も、あらゆる害
虫を駆除してこのような花

に育つことを念じて、花づ
くりを教えています。
二年生とはトラスト教会
の協力を得て、三宿神社緑
道、円泉寺周辺のバード
ウォッチングをしています。

大木校長先生も普通の授業
では体験出来ないことが出
来ると喜んで下さいます。
三年生には、まちの移り
変わり、例えば江戸時代戸
数二十軒の三宿村の様子や、
昔の子供の遊びについて給
食と共に歓談しながらして
います。このように良い子
に育ってほしいと念じて行
動している町会活動の一端
を報告します。

繁栄を続ける太子堂

太子堂四丁目西山町会

会長 宇田川 義信

太子堂は、古く歴史のあ
る街であり、キャロットタ
ワーに象徴される新しい
街だ。

わが太子堂にそのルーツ

を尋ねれば、この地名は約
五百年前の文録年間に、大
和の国の僧賢恵が聖徳太子
像を背負って、数人の人々
と共に「円泉ヶ丘」、現在

円泉寺のある付近一帯に庵
を結んだことに由来される
と言われます。その後、幾
多の変遷を経て、人口も増
加し、お互いに助け合い自
治の生活をはじめたことで
しょう。これが現在の町会、
自治会に継がっているの
ではないでしょうか。

さて、この太子堂も大き
く姿を変えてきております。
世田谷を代表するキャロッ
トタワーは、四年の歳月を
かけ現代建築の粋を結集し
たもの、世田谷の誇りであ
ります。

しかし、地元には障害も
出てきました。電波障害か
ら風害、周辺道路の交通問
題もあり、これらの問題を
かかえて、再開発組合との
交渉を行い、徐々に解決の
方向にむかっております。
要は、キャロットタワーと
共に将来の世田谷・太子堂
の繁栄を築いて行こうと、
地元町会も一丸となって励
んでおります。その他、何
処も同じ悩みの「放置自転
車」「ゴミ減量」等、住民
のモラルの問題では弛みな
く広報し、区民皆様の声を

聞き、一年また一年と改善
につとめて行きたい。

このような経過をたどり、
現在放置自転車の警告書や
ゴミネットは廃止しており
ます。

また、防火・防災が重要
で欠かせません。防災マッ

「町会長の苦勞嘶囊」

弦巻町会会長 佐々木 一雄

プ作りも進行中でありませ
以上、住みよい、住み
続けられる町を願ひ、私
達の明るい太子堂の町を
築こうと、一同懸命の努
力を払って参る所存であ
ります。

時たま聞くことだが、
「町会という団体に加入し
たら、どんな利得があるの
ですか」と、その言葉の時
代錯誤に吃驚仰天すること
があった。役目ながらいつ
も迷子の子供たちに、道を
教えるように親切丁寧に話
したものである。その根気
が追々に私の知る知らぬを
問わず解るようになって
いった。街のささえあい、
ふれあい忍耐さを、三十有
余年続けたものだ。
いい加減自分の苦勞囊も
一杯になってきた。
流石に愚鈍な自分も、新

しい囊のとりかえをしたく
もなる。人生もとより意の
如くならぬは、世のならわ
しかも知れぬ。私ども一
市井人としては、徳義がま
すますそこなわれる現時、
上辺だけの愛郷の衣は脱ぎ
捨て、政治家や宗教者や教
育者のような、高邁な領域
にはほど遠いかも知れぬが、
明日を観てひたすら今を一
所懸命手伝い続けることが
肝要だと思ふ。
とは言え私たちの注文も
全くないではない。
最近町会宛てに殺到する
回覧用のチラシの多いこと

わたが町の防災対策

桜丘南町会会長 荒井芳夫

には頭を悩めている一人である。次から次へと届く伝達用の公示文を始めとして、商業的な福祉関係の注文書入りの類、児童館の発行するもの等々、すべてについて非難の声をもつものが多い。とりわけ児童館関係のふれごとなどは、学校、PTAとの相互の信頼にまかせたらとも思う。

とに角、町会に託する回覧板用のふれが多すぎる憾みがある。私たちは黙々として、町会の仕事としては、まことに些細なことかも知れぬが、これらに依って大切な官公署用のものの遅延をおそれる。

元来、居住者の回覧の扱方もかなり時間がかかり、時には機を失した叱責にも遭うことがある。空廻しの無益な仕事が起こらぬよう、願ったりすることが苦勞漸からの一つである。

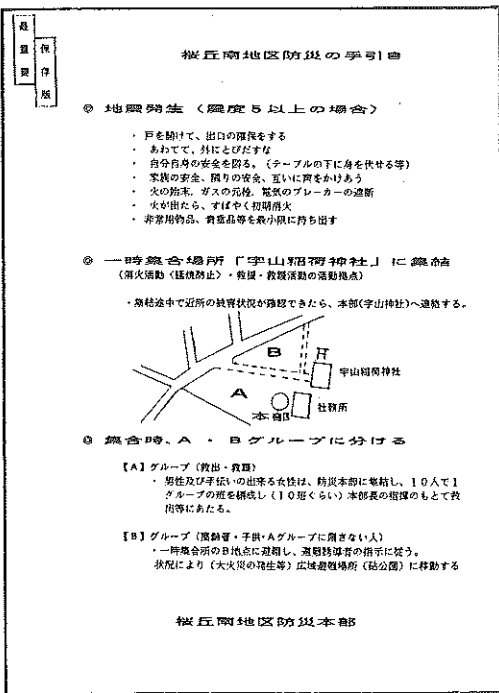
ともあれ情熱溢れる町会役員の失望をこれより大にせぬよう、私の苦勞囊を軽くしてほしい。

私達の町会は環八の北側、世田谷通りの西側にはさまれた周囲三二〇キロ、世帯数一五五〇軒の町会です。

中央に神社や寺を有し、回りにには畑や植木場、竹ヤブ等がまだある住宅地であり、またそのような環境なので、平成七年一月の阪神淡路大震災が発生するまで、これという防災対策をしていかなかったのが実状なのですが、この大震災により多

くの教訓を得て、当町会においても地域にあった防災対策を検討し、全世帯に「桜丘南地区防災の手びき」を配布することになりました。

この防災の手びきの一番の特徴は、活動可能なAグループと弱者からなるBグループに分けて集まることです。Aグループでは、災害時（日曜日の朝のように、男性が多数いるとは限りま



せんので）集まってきた順番に、色分けしてあるヘルメットを着用し、十人一組とし、本部の指示により、防災用具等を持ち、救出、救護にあたります。BグループはAグループの指示に従います。

防災の手びきは、毎年一

安全と環境の良い

まちづくりをめざして

下馬五丁目町会会長 梅田重男

平成7年4月に老人会長が病氣のため、その後任として会長の職を頂きました。以前より入会はしていましたが、まだ老人の仲間入りに抵抗を感じていました。

を頂きました。10年間副会長をしていたので町会の仕事の内容も大体承知していたつもりでしたが、いざ会長になって改めて仕事の大切さを知りました。

しかし会長の職を頂いてから思わぬ方々とご縁を頂き、地域の老人同志の大切さと町会との連携の大切さを改めて知りました。

町会役員の方々は皆心の通じている人ばかりで、役員会などでは全面的に助言、協力をして下さるので大変スムーズに進行しています。

町会に於いても10年間、副会長の職を頂いておりました。この春、会長突然の病により5月より会長の職

度全世帯に配り、催しもの（お祭り、盆踊り）等、人が沢山集まる機会には防災の手びきを示し、説明をするようにしており、防災対策が私たち町会の最重要課題と位置づけていきたいと考えております。

かなかその通りには行きません。町会費も二十年前より収入が少ないのが現状です(二世帯年二〇〇円)。他の町会も財政的には同じかと思えます。

町会宛ての回覧の多いのには驚きました。区関係の回覧は必要ですが、税務

清掃、警察、消防、福祉名での通信販売のカタログなどなど。各方面においても

ご一考願いたいのです。都だより、区報など重複する

ものもあるようです。町会の大事な仕事は地域が安全

で環境のよい清潔な街造り

を行政と協力しながら進める事ではないかと思えます。

地域連合町会でも街づくり

推進委員会を設置して各町会も協力しています。

昨年、阪神大震災以後防災に関して、都、区でも力

を入れていた問題です。昨春震災後当町会館での消防

署の講演で、町会の団結の固い処は、死者、負傷者も

少なく、物資の配分などもスムーズであったと聞きま

した。この様な町会を目指し、役員一同頑張りたいと

思いますが、何分にも新米の会長です。他町会の皆様

のご指導を切にお願い致します。

固定資産を所有する

町会の悩み

駒沢親和会会長 浦野 富士弥

当町会は鉄筋三階建(敷地百四十平米)の会館を所

有し、昭和三十三年社団法人駒沢親和会として発足、

法規、定款に則り理事十八名により運営して居りまし

たが、平成四年東京都教育委員会による、公益法人現

況検査が実施され、その結果「地方自治法改正による

区長認可の地縁団体へ移行の検討を勧告する」旨の通

達を受けました。早速地縁団体認可申請と並行して社

団法人解散許可手続きに着手しました。行政当局もこ

の種の移行は前例が無く、明確な指導も得られず、煩

雑な事務処理手続きには全く閉口、二年余を費やし、

平成六年末認可され地縁団体に改組を機に、役員を増

員をはかり、現在三十五名(男十四名、女二十一名)

で運営しています。過去、社団法人なるが故

に、法規制に阻まれ役員が増員、改選にしても逐一主

ます。

その後、小田急線の開通により地域の人口もふえて

来ましたが、町会費等も無く、祭礼、仏事、老人会等

の世話に地域の有志の寄付で運営をしており、世話人

は大変苦勞をしておりまし

た。三十年位前より防災訓練その他行事も多くなり、

務官庁への報告、承認、登記等事務手続きに追われ、

本来の町会活動も思うにまかせず、閉鎖的運営になり

がちであった事も否めません。

更に東京オリンピック以降、高度経済成長時代を経て、鉄とコンクリートで建

設が進み、人と人の間にも次第に厚い壁が出来、加え

てバブル期に住民の移転離散も多く、益々利己的風潮

が定着し連帯意識が、すれ、あらゆる面で町会活動も非

常にむずかしい現状です。

なお、町会会館を集会所等に開放(有料)して居り

ますが、老朽化が目立ち修理修繕箇所も年々多く、又

至近に区の近代的地区会館が新設され、利用者も漸減

し、維持管理も次第に困難な状態となって参りました。

不動産を所有する町会として苦悩しております。

多難な前途ですが役員一同英知をあつめ、空洞化を

埋め、地域の人々に親しまれ、少しでも温もりを感じ

る町会を目指して、模索しつつ研鑽奮闘中です。

北沢地域

豪徳寺駅前町の町づくり

赤堤不動尊を中心に

豪徳寺一丁目山下町自治会会長 早崎 清治

山下の地名の由来から言

うと、江戸時代武蔵野台地山の手、荏原郡松沢村大字

山下と言う地番で、其の頃

は台風時期には大雨ごとに北沢川の増水で、山下より

下手にかけて橋は流され、

床上まで水につかり、大変困ったと言ひ伝えられてい

町会費を集めて会を運営して行くことになり、町会名簿も初めて作りました。隣組の充実を進めるため、町会を四十組に分けてお互い「助け合い一声運動」をモットーに、親切で明るい町づくりを進めて今日まで続いております。

山下の地域内には玉川八十八ヶ所第四十七番札所(子育地藏)があり、その上段の地に赤堤不動尊が建立されています。

この不動尊は第四十五代聖武天皇の御代、天平年間奈良東大寺建立のため、良辨僧正が関東に下った、その時伊勢原大山不動尊を建立し、その際同じ木にて赤堤不動尊も彫刻されて奉建されました。毎年一月、五月、九月二十八日には大護摩執行を松国寺住職が行い、善性寺総代役員と町内奉賛有志が集まり、祭事を続けております。

平成に入り本堂は大変立派な寺社防災建築になり、平成七年には山門も作りましたので、名実共に荘厳な不動様になりました。

小田急線の立体交差事業で駅前交通広場の提案もあり、豪徳寺駅周辺地区街づくり運営委員会も発足しました。住み良い、防災に留意した町づくりを住民全体で考えて行き

代沢地区七町会 資源回収の推移

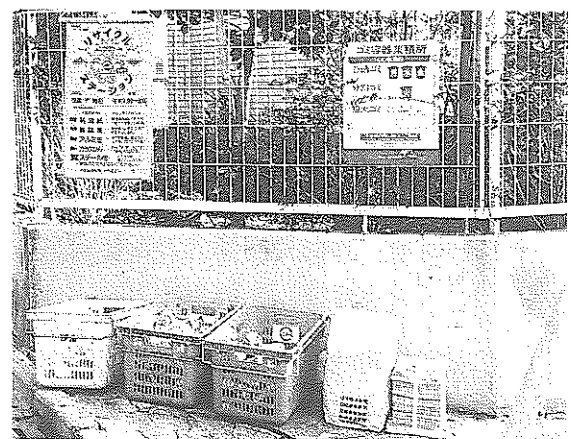
代沢中町会会長 宗

晴

たいと思います。二十一世紀に向かって如何にして豪徳寺駅を中心に良い町づくりが出来るか、我々の責務と想って頑張つて行くつもりです。

所からアルミ缶つぶし機を貸与され、毎月の缶つぶし作業は、七年二月まで協力員によって行われた。又、「協議会ニュース」を回覧し、回収量、売却代金、地区福祉への還元等報告をしてきた。

平成三年七月から紙パック部を発足、富士中、池之上小、代沢小の三校に区貸



神・淡路へ義援金三十万円をおくった。

月第一土曜回収日、物置に収納、年に一、三回収業者に渡している。これには池之上小PTAも参加して現在も継続。アルミ缶、紙パックの売却代金で、現在までに車椅子十六台を購入し、これを代沢地区各民生委員に預け、役立てて頂いている。(写真上)

また、入浴券購入老人クラブへ助成など地区の福祉へ還元している。また、阪

平成三年四月、区の生活環境部にリサイクル推進課ができ、同月十二日から担当課長以下三名の職員と、私、代沢出張所長、七町会関係者の間で、一年間に十五回に及ぶ会合、準備の結果、四年三月二四日「代沢モデル地区」第一回新聞雑誌、アルミ缶回収実験の運びとなった。

昭和六十三年五月、代沢地区全域でゴミゼロデーを行い、アルミ缶三五キログラムを分別したのが最初のきっかけとなった。それから毎月、アルミ缶を回収するようになり、平成元年六月二日、七町会合同で「まちの美化と資源を再利用する協議会」(会長宗晴、協力員五五名、事務局第七出張所)の発会式を、当時の北沢地域清掃協力会長、世田谷清掃事務所長、区の消費生活課長をお招きして、区民フロアードで開催した。十二月に世田谷清掃事務



六月十七日「代沢地区リサイクル協力会」を設立、現在では毎週火曜日に新聞雑誌、アルミ缶、ステイール缶、飲料用びんの四品目

を、一三〇ヶ所のステーションに集め、一六七名の協力員が区の資源回収に協力している。

また、世田谷ロール、世田谷ティッシュと命名された再生品を協力販売し、川場村製造「ふるさとぼかし」(註)の協力員となり、微生物で生ごみを土に還す方法を皆さんに広めて、ごみの減量に大いに貢献してい

会長を引き受けて

北沢二丁目南町会会長 久保清吉

昨年度の定時総会の席上、名前だけの副会長であった私が、突然、会長にと推薦された。「荷が重い」として断ったが、駄目で、とうとう引き受けることとなった。そこで、現在の町会区域内の状況は、どのようなになっているのかと再確認するつもりと、町会のためになるのは何をすればよいのか、また、それはどうすれ

ます。

註 「ぼかし」とは米ぬか、籾殻、糖みつに「有効微生物群 (EM)」溶液を混和し、発酵乾燥させたもので、生ごみを微生物の働きにより発酵させる役割をします。生ごみをよく水切りし、ぼかしを振りかける

ばよりよくなるのかということを含頭において、隅からテクテクと歩いてみた。結果は、電力会社へ、二重払となっている街路防犯灯費のあることが判明、町会担当費の適正な支出とするように改めた(年約一万円余)。このほか、会員名簿の作成や人間関係を深めるために、町会の行事等の際、出席者の胸に、住所入

り名札を付けている。

本年度は、町会での防災訓練を、次のように決め、実行した。

日 時 七月二十八日(日) 午前六時三十分 から約二時間

集合場所 北沢タウンホール入口前

訓練内容 集合後、車椅子を先頭に指定広域避難場所(目黒区駒場、東大教養学部)へ向け出発、途中の避難ルートを確認しながら歩く。現地で簡単なミーティングをした後、構内を一巡し、解散。という事であった。

経験した主な点を次に列挙する。

○ 歩道、車道共に傾斜となつている、歩道と車道

の間には、必ず段差がある。

○ 坂道が多いので、車椅子を一人で押すには、相当の体力がほしい。

○ 車椅子に乗っている人の顔あたりが狭い道路を通行した際、放置自転車のハンドル回りや草木の枝葉に当たった場所があった。(眼の不自由な方要注意)

○ 東大構内の運動場へ行くには、階段がある。運動場周辺にトイレは有つたが、水飲み場は、確認できなかった。

○ 東大構内裏出入口は、進入禁止のポールがあつて、車椅子のままでは通行出来なかつた。



車椅子で避難経路を辿る参加者たち

< 町会長異動 >

烏山地域町会自治会連合会

4月1日付 ◎ 芦花住宅管理組合 (新) 岡本一彦 (旧) 菅沼音吉
5月1日付 ◎ 千駄山町会 (新) 甲斐 円治郎 (旧) 小池五一

砧地域町会自治会連合会

10月1日付 ◎ 清水建設砧アパート自治会 (新) 川瀬 博 (旧) 今野隆充

玉川地域

保健所の定期出張診断から始まった

婦人会活動

東玉川町会副会長 土肥越子

町会と婦人会合同の行事として次のことを望み、何とかしたいという思いが胸一杯になりましたので、婦人会で相談しまして実行にうつすことになりました。

前おきが長くなりましたが、この東玉川町というのは役所にも保健所にも遠く、赤ちゃんを抱えたお母様達が大変な不便をしていることを知りまして、是非近い所で子育ての御相談が出来ないものかと考え、時の区会議員をしていらした甲府方信吉様に御同行願ひ、私と副会長の多田さん(御二人とも他界されましたが)三名で保健所を訪れ、我が町の実情を訴え、何とか保健婦さんを我が町に派遣して、月に一度の子育て相談に対応していただきたいと

強くお願いをいたしましたところ、保健所に快く受け取って頂き、昭和四十年七月より願ひがかないまして、毎月第二金曜日をその日にあてて下さいました。ほんとに有り難く嬉しくて町の掲示板に町会長の立派な字

にとまるようなお誘いのお知らせをしたのが最初でした。それからは第二金曜を待ちかねたお母さん方が、寒い冬でも、猛暑の夏でも喜々として御集まりになりました。保健所からも二人くらい保健婦さんが玩具を一杯持っていらして下さいまして、婦人会の世話の方達が用意をした場所

では体重の検査、身長検査をしまして母子手帳に記録して、あ、体重も身長も増えているわ等つぶやきながら記録して先生にまわしますと、先生はいろいろ子育てのご相談を話していらつしやいます。

保健所から体操の先生もいらして、赤ちゃん体操を三十分位なさいます。私共で見ているだけでこわくなるような赤ちゃん体操ですが、赤ちゃんは大きげんでキヤツキヤツと喜んでおります。赤ちゃん同志何やら通じ合うのか仲良く遊んでおります。お母様方も結構友達になつたみたいで微笑ましいことです。

して下さった方々が大勢御他界されました、始めた当時から今まで続いている人は三名になりました。しかし幸いな事に若い会員さんが当番制で充分にお世話して下さいっております。記録帳も六冊目が僅かになる程になりました。遠方からいらして下さる保健所の先生方に、心から感謝いたします。有難うございます。

いつまでもこのお仕事は続けたいと念じております。第二金曜の午前中おひまがあまりになりましたら、また興味がおありになりましたら是非お出かけ下さいませ。わが年齢を忘れ、赤ちゃんの顔の見える第二金曜日が待遠しいと思う今日この頃でございます。

平成8年度 **子育てひろば** 東玉川神社

みんなで楽しく遊んだり体操したり
育児のことやその他いろいろお話し
しましょう。

対象: 0~3歳位の子どもとあ母さん

日時: 10時~11時30分(第二金曜日)

場所: 東玉川神社集会所

お問い合わせ先: 玉川保健所保健指導係
☎ 3701-7187

お気軽に
来てください
お待ちしています

1/2, 5/10, 6/4, 7/12,
9/13, 10/11, 11/8, 12/13,
3/4, 3/4. (8月・1月1日休み)

奥沢中和会の現在

奥沢中和会副会長 渡辺 充郎

奥沢中和会は奥沢の四丁目と五丁目とその範囲で、約千三百の世帯から成り立っています。町会の組織率は九十五パーセントという高率を誇っていますが、町会に対する認識度は必ずしも十分とは言えない面が多くあります。

今年度の当初の理事会でこのことが取り上げられ、具体的な方策として次の事項が可決され、早速実行に移されることになりました。

- (一) 理事会を、今まで随時開催されてきたものの上に、更に年四回定期的に開催し、連絡を密にして周囲の状況を把握し、報告し合うと共に、会員からの意見や要望を積極的に吸い上げて実現可能なものは実施の方向で考える。
- (二) 一般会員を対象に日帰りバス旅行を実施し、相互の親睦をはかる。
- (三) については会員からの要望を踏まえて、早速七月に災害時の対応に関して行政・警察・消防との対話集いの場を設けました。
- (四) については十一月に実施の予定で、コース、時程も決まっています。

リーディングキャンペーン、苗木の配布などでも積極的行動が目立ちます。年末は毎年行われている「めぐみ婦人会」主催の不用品即売会に協力して、一般会員から提供された不用品の整理に大

『アンケート』で

感激したこと

尾山台三丁目会会長 武田 信夫

それまで自転車で走り回っていたW会長が病のためダウン。その後釜を自信のない仮引継いでアツと言う間に半年が過ぎました。この辺りは住宅地で駅にも近いので、区全体では人口減にも拘らずマンションやアパートが増えてきて、人口は漸増中ですが、町会費の面では苦勞の種となりそうです。

さて、高齢化社会は医療費を押し上げ、町総連も寝たきりゼロを目標に活動していますので、今回はご参

忙しです。しかし、この理事たちも高齢者が多いので、比較的に若い世代の方に理事になってくれるよう、理事会で推薦された人々に交渉を進めています。

方も) ラジオ体操 (お寺や自宅) 以下自転車、水泳、ダンス他

(三) 気の持ち方としては、明るく前向き、くよくよしない、読書、俳句、旅行、他に感謝で過ごす等々。

「問」寝たきり予防で心掛けていることは

「回答」

よく動く、働く、内外の掃除をするが断然トップ、以下自分のことは自分でする。買い物に行く、詩吟や囲碁、ボランティアをやる等ありますが、中に「老人は甘えてはいけない第三者も甘やかしてはいけない」のご意見や「神仏に健康の如護を」の方もありました。その他、町会活動に謝意、激励を頂いた方、6人。因みに最高齢者は93歳の女性で、少しでも歩くよう心掛けておられるとのことでした。

以上アンケートを集計した感想ですが、巷間言われている高齢化、即寝たきり増という傾向は、その気

考までに、当町会で敬老金支給者84人から頂いた考え方などをご報告致します。アンケートは実態認識のための5項目で回収率は83%、以下主要項目のみ上位順から

「問」ご長寿の秘訣は何ですか

「回答」

好き嫌いなく何でも食べる、バランスよく規則的に腹8分目、アルコールを少々の方もいました。

(二) 運動に関して 散歩(3時間や一万歩の

配なく、むしろ人それぞれ自由に役割分担を意識し、戦前戦後を駆け抜けた尊い体験や経験を通じてこの地

の環境と調和し、強く賢く生きる姿勢がうかがわれ大変感銘を受け、同時に責任の重さを感じました。

町会長の所見

中町四・五丁目町会会長 九野 忠利

七年振りに再び町会長の任を受けて早半年が経過した。年間の主要行事の約九割を此の間に消化したが、新人役員が懸命の努力と工夫を重ねて遂行したお陰で、町会の人達と一緒に頑張って共通の目的のために、頑張りんだという意欲と意識が、はっきりと生まれて共に喜び合える雰囲気が出て来た。共に生きる喜びと表現したい。

すべき処だ。かなり実り多い懇談会になっている。十年前の昭和六十年代に比べると内外共に格段の進歩をしていると喜んでいる。始めて町会長を受けた当初の一年間は、制度・体制・運営等の勉強におおわらわであったが、此のたびは心に余裕が出て来たのか、何事もしつかりと身体の中に融け込む様に覚え込み、反省をしながら、明日へ未来への町会の展開の仕方等をじっくりと考える事が出来て来た。何事も理想をかかげる事は大事だが、それを即九十%、一〇〇%の完成など出来るはずはない。せいぜい五五%とか六〇%で合格点としなければならぬ

行政当局も学校当局もこのところ大きな変革をしているように見える。地域懇談会の出席メンバー人選にも細心の注意を傾けて参り、非常に有能な人達を送り込んで、会そのものに精彩を与えている事は大いに評価

い事は、古今東西、幾多の事例がそれを証明している。町会の骨幹は隣組単位の集積体と心得ているが、今までそれを声高に叫ぶ事は、五十年以上前の戦時体制下を想起させるので、大勢の人々は徹頭徹尾嫌った。かかるに、平成七年一月の阪神・淡路の大震災で、その一番毛ぎらいした隣組体制がその機能を十二分に発揮して、国民全体から新しい

意味での見直しが始まった。近き将来必ず来るという東京直下型地震等を含める災害から守るためにも、もう一度皆さんと一緒にこの問題について真剣に意見を交換したいと思う。さらに一歩進めて地域文化に花を咲かせ、果実を結ばせながら若き世代に、おそくとも二十一世紀初頭迄には、道を開けてやらねばならないと思う。

気が一変しました。飲食店や娯楽施設が新しく出来ては又消えて行きます。町内には各種の学校が数多くあり、朝の時間帯には駅のコンコースは通勤者や学生さん達で溢れています。こんなに変わるとは以前では全く思いもよらない事でした。用賀には三つの町内会があります。駅の東南部に位置している私達の町会は、永い間「用賀一丁目会」として活動して来ましたが、町名が変わったりして実状に合わなくなったので、五年前に「用賀南町会」と名称を変更しました。

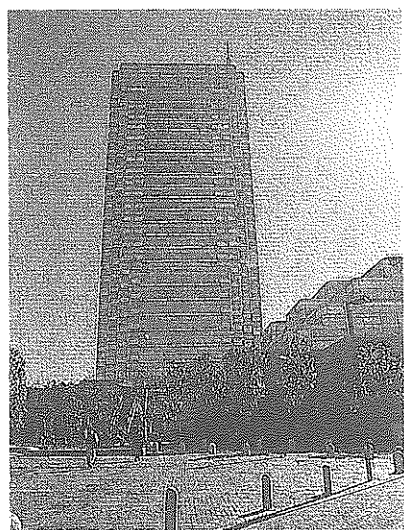
敬老会が結ぶ住民の輪

—— ビジネスの町に変貌する用賀 ——

用賀南町会副会長 鈴木 堅之

用賀の街は、戦後暫くは「畑あり」、「みどりあり」の比較的閑静な処でした。東名高速が開通し、又三年前に世田谷ビジネススクエア(SB S)のビル群

が出来てからは、町の雰囲気



年中行事の中で力を入れているものに九月に行われる敬老会があります。今年で第四十八回になる伝統ある行事なのです。先ず、用賀神社の宮司により長寿祈願のお祓いが行われます。このお祓いをしてもらう事により、お年寄り達は明治、大正、あるいは戦争という激動の社会を生き抜いて来られた事への有り難さを感じ、さらにもっと長生き出来そうな力

を授かった様な気がするのと
の事です。役員婦人部によ
る手製の料理のもてなしも
喜ばれます。核家族がふえ、
食生活も変わって、近頃で
はあまり口に出来なくなっ
た諸、野菜の煮物は、昔の
想い出と懐かしさが相まっ
ていつも大好評です。

長寿社会になり、多勢の
方をお招き出来る事は非常
に喜ばしい事なのですが、
一方で会場が手狭になり、
これからはどうしようかと、
それが一番の悩みのたねと

なっています。

どこの町会も同じでしよ
うが、最近は多くの方がそ
の地域の活動にあまり関心
を持っていないようです。
住民の数は増えているので
すが、なかなか会員増には
つながりません。

皆さんが喜んで町会に加
入して行事に参加したくな
るような、魅力あるまちづ
くりを進めてゆきたいと役
員一同新しいアイデアを検
討中です。

交和会会長就任の御挨拶

(深沢)交和会会長 本田次郎

このたび交和会の総会で、
会長の指名を受け就任致し
ましたので、一言御挨拶を
申し上げます。

前任の故小澤会長は、三
十数年の間交和会並びに地
域社会の発展のために、尽
力された誠に優れた指導者
でありました。私が会長に
就任してから二日後、病の

ために他界されました。痛
恨の極みであります。心か
ら御冥福を御祈り申し上げ
ます。

会長に就任してから、数
ヶ月の短い期間ですが、会
の運営について所見を申し
上げます。町会の行う業務
は実に多く又関係する団体
は誠に広範囲であります。

又これらの団体から期日等
を指定された依頼が多いの
には驚いております。従っ
て町会の行う業務は、慶弔
からはじまり防火、防災、
防犯、保健衛生、文化活動
等多岐多彩にわたっており
ます。

このような、多くの業務
を行うためには、会長をは
じめ役員一同奉仕の精神に

町会長セミナーの開催を！

欧米の自治体はどうしているのだろう

深沢三友会会長 秋山 満

徹底し、会員や地域住民から
信頼され、協力を得ること
が重要であります。これが
ために平素より会員や地域
住民との親睦を図り、相互
の理解を得ることが大切で
あります。

私は微力ではありますが、
皆様方のご指導ご支援を賜
り、会の発展と地域社会の
ために貢献する覚悟です。

一般住民の町内会に対す
る関心度は、地域性、職業
在任年数、年齢等により意
識に差があることは否めな
い。早く家を出、遅く帰る
会社勤めの人からみれば、
町会などに関心をよせる余
裕など無い筈だ。一方、そ
の地に商店を営む人、親の
代からの住人は、馴染む度
合いも愛着も一味違うかも
しれない。

この点から町会組織を見

めてくる。新しい事をやら
うとすればその都度である。
私はそれを行政の下請け
とも、住民の義務とも思い
たくない。戦時中の隣組組
織ならともかく、平和な今
は多少ボランティア精神の
ある方々により「出来るも
のはお手伝いしましょう」
と言った程度の気持ちで良
いのではないかと考える。
結局は限られた役員さん
のお手を何時も煩わす羽目
になってしまい、これで住民
の気持ち行政に反映出来
るのかと自問したりする。

そこで思うのは欧米先進
国の自治体は、どの様に住
民の協力を得て行政を執行
をしているのか、町会、自
治会組織の様なものはある
のか無いのか、等々を調査
研究された部門が都庁内
にはあると思う。かかる関係
者からの町会長セミナーな
ど、開かれてもよいのでは
なからうか。

昨年の阪神大震災いらしい、
組織とリーダーのしつかり
した町会地域は、災害から
かなり守られたとの話しも
聞き、自治組織の重要性が

見直されているようだ。また、中高年世代の定年後の人生に、地域活動への奉仕を勧めるむきも多い。かかる視点から先輩町会長さん、

新米町会長 一カ月の日記から

駒沢町町会長 椿 儀

驚いた。驚いた。七十五歳の爺さんが町会長をやるなんて。

私は今年の五月の総会で町会長に選任されてしまった。こんな事になるなんて考えた事もなかったのに。本当に驚きました。高年齢

更には行政のご意見などを拝聴して見たいなあと、回覧紙配布の準備をしながら考えてみたりした。

う。該当者一八二名の多数なり。

九月二日 不健全図書等の実態調査報告。青少年事業報告。夏季パトロール等報告書作成。

九月四日 敬老祝品配布予定者十名宅を訪問。お願いし、了解をとる。新しく役員をお願いに桑野さんを訪問。引き受けてもらう。良かった。

九月八日 青少年深沢地区委員会「バスハイク」に参加。子供達と一緒に楽しかった。

九月九日 町会部長会を開く。七名参加。
九月十二日 玉川警察署へ交通安全運動の説明会に出席。

九月十三日 敬老祝品を十名の方々と配布。

九月十六日 深沢区民センター実行委員会の研修見学会に参加(佐倉国立博物館他)

九月二十日 選挙立会人依頼に数名宅を訪問。
九月二十一日～九月三十日 交通安全運動始まる。この間、登校時庚申前五又路において、七時五〇～八時三〇まで交通整理をする。低学年の子供達元気に「お早う」と言う。

九月二十三日 午前八時より町内を巡り暴風雨の被害状況を見る。少なくとも良かった。

九月二十五日 深沢出張所

において町会、自治会長会議に参加。

九月二十六日 会員よりゴミ集積所のことで相談を受ける。隣近所で話し合いのうえ決めてくれと話す。

九月二十七日 玉川区民センターにおいて、玉川警察署主催の地域安全運動の集いに、私ほか五名参加。その他配布物五件あり。

任意団体の町会長は、思ったよりも雑用が多く、多忙である。健康なうちは町会内を巡り、会員の方々の声を聞き、会員相互の和と楽しい街づくりをして行きたいと思っている。

新しく自治会長に就任して

ワープロを習うことから始めた

祖師谷第六自治会会長 福田 岩基

地域 誌

二年前、私は自治会について何一つ知らなかった

え、たまに家内が自治会の回覧を持っていても、読み

もしませんでした。その私が自治会の仕事を引き受け

る気になったのは、地元のお役に立つことならと、気軽に考えたからです。自治会に入ってみて初めて、無用と思われる情報もありましたが、沢山の有用な情報が飛び交っているうえ、私が名前も知らない団体が沢山あることを知った

のです。しかし、それら自主的団体の活動が、二年前の私同様、一般会員に全然知られていないことを残念に思うようになった。その主因は、情報伝達方法が、回覧板方式をとる所にあると思うようになりました。回覧板の内容は、会員に

読んで貰えないか、読んで
も忘れられるかです。そこ
で副会長を仰せつかったと
き、回覧板の内容の要旨を、
六百名の会員一人一人に、
一部ずつ配布する方式に改
めることを提案しました。
といつてもその仕事をした
のは、その時の会長、福岡
氏でしたが、大変なことは
私にも解りすぎるほど解り
ました。

次に会長をやれとお勧め
の時に、この大変なことを
承知の上で、更に一歩す
すめて、『自治会だより』
の発行を考え、最初に始め
たのはワープロを習うこと
でした。(還暦を迎えた男

が老眼鏡をかけ、慣れない
指で、キーをポツリポツリ
とたたく姿をご想像あれ)

『自治会だより』六百枚
と、他所からのお知らせの
コピー六百枚、更に回覧
自治会からの連絡書等、合
計千五百枚近い紙を、班の
人数に合わせて三六の仕向
け先に仕分けるだけで、丸
一日の仕事です。今『自治
会だより』は、五月末第一
号を発行してから、十月に
は第八号を発行し、今(十
月現在)第九号の原稿が完
成されつつあります。私は
この『自治会だより』で地
域の人間関係改善に寄与し
たいと思っています。

新参会長の記

成城地区自治会連合会

会長 高橋 玄

平成八年六月、地区の
方々のご推挙により、はか
らずも成城自治会会長をお
受けしました。

以来半年、一歩外に出れ

ば、たちまち行政教知らず
の闇夜、迷路を引きづり回
され、よつやく内に戻れば、
ゴミに群がるカラスと朝駆
け町内合戦、昼はご老人か

ら子供達迄の諸行事が相次
いで待ち受ける。さて夜と
もなればそれ臨時役員会、
やれ緊急町民大会と、会長
吊し上げのチャンスには事
欠かない。



とにかく、四六時中、地
区八百八町を駆け巡って踵
を磨り減らし、週に一度の
安息日もままならぬ昨今
です。

地域社会とは、かくも多
重かつ多忙なものかと驚嘆
している次第ですが、こう
した難行を、多年に渡りこ
なして来られた、わが世田
谷区の町会・自治会会長各
位のご力量には感服致すほ
かなく、この不肖な新参会
長にご薫陶を賜りたいと心
から願う次第です。

その不肖・新参会長に利
いた風な口を聞かせて頂く
とすれば、さて私共が地域

社会のためによかれと思う
活動・事業を達成しようと
する場合には、結局、区域
住民の共同組織である我々
町会・自治会が相互に横の
絆を固めて事に当たる他に

はないかと存じます。
政治・経済ともに多事・
多難を予想される新年に際
し、成城地区自治会連合会
を宜しくご教導下さる様
お願い申し上げます。

私の一つの関い

千歳船橋郵政宿舍自治会

会長 福住 耕治

私は四月に自治会長に選
出されました。宿舍自治会
では役員は毎年交代制です。
ですから、互いに新鮮であ
る反面、活動が単発的にな
りがちで継続性に欠ける部
分は否めません。

〇分頃、「ほうきを貸して
くれ、あいつらを追っ払っ
たけど、中庭はタバコと吸
殻が散乱しているんだ」と
の知らせがあり、その場に
駆けつけて行きましたが、
一口に言ってみてひどいもので
した。

七月の清掃の時に、ガソ
リンが入ったタンクが三管
宿舎内に放置されていました。
た。しかも炎天下で万一事
故でもあったら一大事だし、
「持主」と思われる「彼ら」
に問い合わせました。でも
「彼ら」は、「知らない」
「俺たちのじゃない」「関
係ない」の一点ばり。
「事件」はその日のうちに
起こりました。夜十一時四

「彼ら」と「あいつら」
は同一人物で、夜中から朝
方の四時頃まで宿舎内でバ
イクを乗り回したり、車の中
で話したりしている光景
が二年ほど前から見受けら
れ、不満の声が出ていまし
た。だから「彼ら」がガソ
リンタンクの「持主」であ
る事を否定する人はいない
し、事実その周辺でも屯し

ていました。「彼ら」の行為は親に対して、あるいは大人社会に対しての反抗、不信等からくるもので、いわば「ツツパリグループ」です。私は以前から「彼ら」と話し合いたい、「力と力ではダメだ」と思っていました。

八月下旬に私の怒りが爆発しました。

保管してあるガソリンタンクが空になっていました。正直「この野郎」という気持ちと、裏切られた気持ちとが交差しました。幸い仕事

帰りに「彼ら」が居たので、

二度目の話し合いを持つ機会に恵まれました。少し強い口調でこの間の経過をぶつける、「彼ら」は大きい声で否定し、真相は未だ不明のままです。ただ「集団で生活している以上、一定のルールは守らなければならぬ。人に迷惑はかけない。何かあったら話し合って問題を解決したい」と、四十分近い話をしましたが、「闘い」は未だ続いています。

今年で十七回の 地区区民まつり

喜多見地区町会自治会連合会

会長 原田義保

十一月三日(文化の日)は、喜多見地区の晩秋の行事としてすっかり定着した「喜多見地区区民まつり」が開催される日です。

例年、このまつりの準備は、夏過ぎにスタートしま

す、まず、管内の各町会・

自治会の会長、そして日赤奉仕団、民生委員協議会、PTAの代表からなる「まつり実行委員会」が、中心

となり構想が練られます。そして、各団体から選出さ



目という
ことで、
喜多見小
学校で先
日開催さ
れました。
まつり
前日の設
営の時に
は小雨で、
実行委員
一同心配
しました
が、当日
は雨もあ
がり、一
時は日が

差す暖かい日和となりました。お蔭様で、昨年にも増して多くの方々の来場をいただき、各催物には子供さんを中心にも多くの方々がつめかけていました。
また、管内各小・中学校の子供さんたちの楽器演奏、地域の有志の方々のお囃子、大太鼓、神輿、民謡民舞そして民俗芸能がこれに花を添えていました。
このまつりを通じて、ふるさと意識の醸成に寄与したいというのが一同の願いです。

「我が町 石井戸」

石井戸会会長 石井 勇

私の町会は、世田谷区の

西部に位置し昔でいうならば、砧村大蔵の石井戸と言います。町会の会員世帯数は、五三〇世帯で加入率は八五から九〇%位だと思っております。

昭和二十三年に発足し五十周年を迎えようとしてい

ます。私も役職について四

年目に入りその間、区画整理事業が二ヶ所で行われていましたが、区画整理が竣工し、人口増加の一途をたどっております。

また、敬老事業として毎年七十歳以上の高齢者には記念品を配布しております

れたメンバーから構成される、催物、出店、庶務、警備、学校PTA、接待、救護、福祉の各部署が、具体的な計画を立て準備を整え、当日を迎えるのが例年の流れです。

実施にかかわるメンバー総数は百五十名を越え、これに事務局として喜多見出張所の皆さんのお手伝いをいただくということで、まさに喜多見地区をあげてのまつりとなります。

そして本年は、第十七回

烏山地域

小さな自治会

簡易保険団体契約を始めて十数年

上北沢一丁目自治会会長

鈴木 誠

烏山地域で最も東の外れで、最も小さい自治会、上北沢一丁目自治会を紹介したいと思います。

まず、名所と言えば、北向日蔵尊(一ノ十二)があるくらいです。官公庁では、世田谷消防署上北沢出張所、厚生省の社会保険研修所が代表的な施設であります。まちの環境は閑静な住宅街であります。数年前からマンション四棟が建設され

が、毎年三名から五名の割合で増加しております。

又、今年も、途絶えていたシルバークラブも復活の運びとなりました。この町会はまだまだ自然が残る大変住み良い所ですが、町会内にはコンビニエンスストア、信号機など一ヶ所も

ございません。

今後の課題としまして、町会発展のためには地元居住者と新居住者が一つになつて協力しあう事が重要な事であり、先の阪神淡路大震災のような災害が起きた場合に一致団結していかなければ、町会内での対処

が出来ないと思えます。

これからも益々発展していくこの町会のため、住み良い環境、明るい町づくり、私も微力ながら努力を惜しまない所存でございます。

ましたが、会員数は僅か七百世帯であります。町内には、公園、児童遊園等はありません。しかし、幸いなことにまだ畑が多いので緑には大変恵まれております。

新しいまちづくりをめざし進めて行く上で、期待しているのは、世田谷区で二番目の仮称「世田谷区立上北沢特別養護老人ホーム」の建設が計画されているこ

とです。特老ホームが町の中心となり、地域住民のふれあいの場になつて欲しいと思えます。さて、町の運営には積極的に行動してくれるリーダーが必要で、自治会役員としてお手伝いをお願いしても、なかなか色よい返事はいただけません、それならと、役員でなくリーダーを見つけるように努力しています。

成城通り

パークウエストの会

副会長 高橋 忍

当会は、上祖師谷出張所管内の旧東京教育大学農場跡地に、平成二年建設された公団賃貸住宅居住者で結成された自治会です。

団地は広域避難場所の祖師谷公園と仙川に隣接し、高家賃を除けば、交通の利便性もあり、良好な居住環境です。

総戸数三九〇室、加入会員二五〇世帯でスタートした自治会は、家賃値下げ運動、防災組織の結成、防災講習会、「トライアングル

なで行う事だと思えます。最後になります。

自治会は簡易保険団体保険契約を始めて十数年になります。会員の保険料は割引きされるし、自治会には手数料が入る。おかげで毎年日帰りバス旅行を実施し、人とのふれあいに努力しております。

・フェスタへの参加などの活動に取り組んできました。

特に、平成六年から空き室が増え始めたこともあって、加入会員も一三〇世帯に激減、財政的にも自治会活動に支障が心配されたことから、会員拡大を自治会の重点課題として、災害時の助け合いの大切さを訴えながら、非加入者一一〇世帯に加入を呼びかけています。しかし、地域町会とちがいが、閉鎖的などころが

あつて、それほど成果はあがつていません。

また、家賃値下げ運動にも力を入れてきました。これは、当団地が公園のなかでも東京一？家賃が高いということと、不況の影響もあいまって転出者が多く、三棟ある建物の中で、約一棟半にも相当する一八〇戸の空き室がある状態は、防犯上好ましいことではありませんが、値下げをさせ、入居者を増やし、住環境を守ろうというネライからの取り組みでした。

幸い、署名活動や粘りつよい対公園交渉の結果、平成八年三月から約一六％の値下げが実現しました。

公園の値下げ決定は、幾多の要素がからんでのことと思えますから、自治会が実現させたとは申しませんが、対公園交渉で値下げを決断させる役割の一翼は果たせたのではないかと自負しています。

家賃値下げに伴い、今年四月以降の入居者は、三〇戸ほど増えましたが、相変わらず一五〇戸余の空き室

は続いています。

小規模の当会は、財政力にも乏しく、他町会の活動とは比較できませんが、今後も他町会などと交流を深めながら、住んで良かったといえる住環境・まちづくりに努力したいと思えます。ただ、役員になりてがないのが当会の悩みであります。

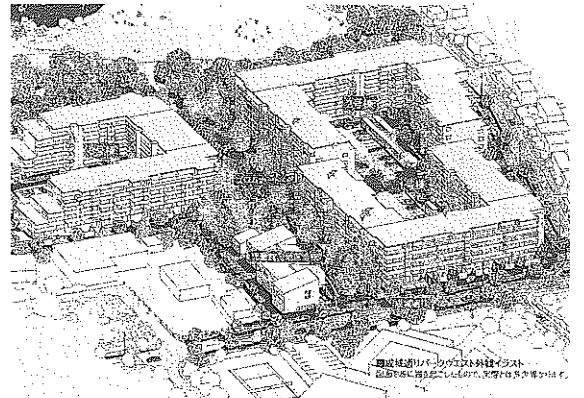
給田町会の歩み

給田町会会長 池亀一夫

給田は世田谷区の北西部で、また武蔵野の南端にあたり、町の西南を「仙川」の流れがあり、「カモ」を見ることが出来る町です。

戦前は静かな近郊農村でしたが、戦後は住宅が年毎に増え続き、今なお続いている町です。

人口は約一万人になろうとしています。給田町会に加入している世帯は約千五



成城通りパークウエスト賃貸住宅

百世帯を数えます。

事業運営資金は一世帯一年金二千元を頂き、その他多少の協力を金をもって運営しているのが現在の現状です。

事業内容は「給田町会規約」の示す目的、即ち「会員相互の親睦、並びに生活文化の向上を図り、明るく住みよい町づくりを目的とする」を基礎として、次の

各部が積極的に事業計画を

立て実行しています。

ここで各部を紹介しますと、総務部・経理部・防犯部・防火部・交通部・文化部・広報渉外部・福利厚生部・青少年部・婦人部ですが、最近の自然災害に対して「防災対策本部」を新たに設けました。

給田町会では戦後廃墟となった社会から立ちあがり願って「文化部」担当で「大運動会」が実行され、今年（平成八年）で四十六回目の「大運動会」が、十月十日に盛大に開催できました。この催しによって「人と人の和」ができたことを有り難く思っています。

なお、文化部として「成人祝」と「七五三祝」も行っています。ほかの各部もいろいろと計画をし、実行しています。すべて紹介できないのを残念に思います。

最後になりましたが、給田町会は「明るい町づくり」を目標にし、「思いやりと笑顔に満ちた町」を願って、これからも頑張りつづけて行きます。

編集後記

三号の江東区における地域防災調査、四号の東京都議会議員に聴くにつづいて、本号では東京都町会連合会長の職にある文京区町会総連合会会長への訪問記事を巻頭に置きました。町会のあるべき姿を模索する方法の一つとして、外に範を求める連載と考えてください。

本号では、寄稿者が一地区に偏らないように努め、また沢山の方がこの情報紙に関与することによって、より多くの方に、情報紙への関心を深めて頂くように図りました。特に三頁に掲げた三田会長の趣旨に添い、新しく会長になった方には優先的に寄稿していただくようにお願いしました。

四号までで二六篇、平均一号六篇の寄稿があったものが、次ページの表に示すように、本号では二五篇の原稿が集まりました。当分の間、各出張所から一篇ずつ集めたいと思います。それによりページ数は創刊号の八ページから十八ページ（次ページ中段に続く）

町総連ニュース

平成八年七月九日の総会以後、つぎの会議等が開かれました。

☆七月十八日 会長

東京都議会へ「世田谷清掃工場早期建替え」の請願書を提出する。

☆七月二十二日

正副会長

区議会の区民生活常任委員会で「世田谷清掃工場早期建替え」についての審議を傍聴する。

☆八月七日 常任理事会

- 一、新役員の紹介
- 二、移動常任理事会の件
- 三、世田谷清掃工場の早期建替えの件
- 四、区民利用施設等の使

☆八月二十一日

交通安全協議会幹事会が開催される。

☆九月三日

第三回エイトラライナー促進大会が練馬区立文化センターで開催される。

☆九月十一日

交通安全協議会が開催される。

☆九月二十五日

正副会長

- 一、東京都知事との懇談会
- 二、東京都町会連合会の位置づけについて
- 三、清掃事業やリサイクル事業と町会の関係について
- 四、震災対策について
- 五、高齢者等福祉施策の推進について

☆十一月七日

移動常任理事会

- 一、町総連情報誌第五号について
- 二、新年親睦交流会について
- 三、「世田谷区立小・中学校適正配置等審議会」委員の推薦について

(前ページ下段より続く)

になりましたが、これからは二十ページを基準にしたと思います。事務局を担当する各出張所長さんにもご苦労をかけますが、よろしく願います。

また、印刷部数についても、はじめは一町会あたり五部程度で考えていましたが、つきつぎに要望が増え、五号は二三〇部刷りしました。表には会員世帯数、住民基本台帳世帯数、ならびに参考として回覧枚数も併せて示しました。もとよりこの情報誌は一般回覧を目的とせず、役員に広く読んでいただくたいのですが、回覧枚数や世帯数は町会の隣組あるいは班の数と関連し、役員の数にも間接的に影響があると考え、今後各町会の必要部数算出に便利

なように一覧表としました。出張所経由でご希望の配布部数を申し出て下さるようお願いいたします。

寄稿のなかに幾つか普遍的な質問があるようです。常任理事会で回答するような気運を作ってゆきたいと思ひます。(W)

世田谷地域							北沢地域						
出張所管内	町会・自治会	1~4号掲載	5号掲載	会員世帯	住民基本台帳世帯数	回覧枚数	出張所管内	町会・自治会	1~4号掲載	5号掲載	会員世帯	住民基本台帳世帯数	回覧枚数
池尻	8		1	10,792	11,126	548	梅丘	6	1	1	11,638	13,266	669
太子堂	7	2	1	5,150	11,607	505	代沢	7		1	7,902	7,900	555
若林	2			8,300	12,504	530	新代田	10			13,099	12,706	890
上町	6	1	1	11,100	21,099	1,030	北沢	8	1	1	10,040	10,134	630
経堂	8	1	1	10,370	22,109	1,080	松原	4	1		9,450	14,146	690
下馬	10		1	17,738	18,094	965	松沢	12	1		9,629	15,153	774
上馬	5		1	13,450	12,901	800							
計	46	4	6	76,900	109,440	5,458	計	47	4	3	61,769	73,305	4,208
玉川地域							砧地域及び烏山地域						
出張所管内	町会・自治会	1~4号掲載	5号掲載	会員世帯	住民基本台帳世帯数	回覧枚数	出張所管内	町会・自治会	1~4号掲載	5号掲載	会員世帯	住民基本台帳世帯数	回覧枚数
奥沢	2	2	1	6,100	9,646	640	祖師谷	12	1	1	5,149	10,867	592
九品	3	1	1	4,520	7,782	550	成城	2	1	1	4,200	7,448	600
等々	9	1	1	7,421	14,395	810	船橋	7	1	1	7,033	12,316	664
上野	4	2	1	5,350	12,253	680	喜多見	9		1	6,069	10,729	606
用賀	5	1	1	11,535	22,896	1,300	砧	8	1	1	7,327	15,214	882
深沢	11	1	3	9,361	18,854	1,200	上北沢	5	2	1	6,382	11,463	610
							上祖師谷	5	2	1	5,089	11,051	638
							烏山	17	2	1	17,399	25,880	1,211
計	34	8	8	44,287	85,826	5,180	計	65	10	8	58,648	104,968	5,803

(住民基本台帳世帯数は平成8年12月1日現在 他は平成8年8月1日現在)